

金属プレス製品製造業における動作の反動無理な動作災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	13~14	本社に派遣中の事故である。自動車部品を入れるパレット（1100×1100×150mm）重さ約20kgを両手で持ち上げようとしたところ、誤って右手小指先端の関節が逆方向に曲がり負傷した。小指に違和感があったが、その日の作業を終え翌日も就業した。途中痛みが出たしたが、現場の判断で定時まで従事した。	42	50～99
6	14～15	工場の外においてあったパレット（プラスチック製畳1畳強の大きさ）に載せてある金型（縦20cm、横40cm、長さ60cm、重量40～50kg）をフォーク（バッテリーリフト）に乗せる為に、両手で引きずり落とすように動かそうとした際に、腰を痛めた。	64	10～29
7	14~15	本社工場溶接場で品物（ステンレス製缶体、厚さ2mm×長さ62.3cm×直径102.7cm、12.45kg）を溶接する作業を行っていた。床に立てた状態の品物を溶接機（床から作業台まで104cm）にセットしようとして中腰になり両手で持ち上げた際、右手首に違和感があったので、数秒休んで再度セットしようとして品物を持ち上げたところ、右手首が痛み、動かすことができなくなった。	39	50～99
7	9~10	工場内にてゲージ（約5kg）を移動させている時に、突然背部に痛みを感じ負傷した。	37	1～9
9	10～11	室内作業場の狭いスペースでの洗浄工程の作業中、棚下段の洗浄カゴを取りに行った際、棚の手前に台車が置かれており、カゴが取りにくい状態となっていたため、腰に負担の掛かる無理な姿勢になり、腰をひねって負傷した。	47	50～99

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_09.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html)